

サンプル

職場で始める！感染症対応力向上プロジェクト

# コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）

— 令和5年8月版 —

# [ 構成 ]

※ ( ) 内は令和5年度改訂・追加した設問数

サンプル

	区 分	設問数 ※
必須	感染症の基礎知識	5
	風しん	7
	麻しん	5 (5)
	インフルエンザ	5
	ノロウイルス	5
	新型コロナウイルス感染症	10 (7)
選択	結核	5 (1)
	鳥インフルエンザ／新型インフルエンザ	5 (1)
	デング熱・ジカウイルス感染症（蚊媒介感染症）	5
	海外渡航関連	5
	性感染症	8 (3)
	エボラ出血熱・MERS	5 (2)
	計	70 (19)

## 感染症の基礎知識



## 基礎知識 ● 第 1 問

サンプル

感染症の説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 感染すると必ず発症する。
- B. 感染症は、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入し、引き起こされる病気である。
- C. 感染するとすぐ発熱、咳などの症状（発症）が出る。



正しいのは

**正解 ● B.** 感染症は、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入し、引き起こされる病気である。

チェック欄

サンプル

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、引き起こされる病気のことをいいます。

感染症には、人から人に感染するもののほかに、動物や昆虫から、あるいは土壌や水などの環境から感染する感染症も含まれています。

感染（病原体が体内に侵入し増殖）してから発症（発熱や下痢、咳などの症状が出る）するまでの期間を「潜伏期間」といいますが、潜伏期間は感染症によって異なります。また、感染しても全ての人が発症するわけではなく、全く症状が出ずに終わってしまう「不顕性感染」の例もあります。ただし、感染症によっては、発症前の潜伏期間中や、不顕性感染であっても、周りの人にうつす可能性があるので注意が必要です。（例：インフルエンザ、風しん等）

感染症は、原因となる病原体や感染経路が異なるため、予防方法はそれぞれ異なります。正しい知識を得て、適切な対策を行いましょう。

# 風しん



# Q

## 風しん ● 第1問

サンプル

風しんの説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 風しんの感染力はインフルエンザより弱い。
- B. 成人で発症した場合は軽症ですむ。
- C. 妊婦が感染すると胎児に影響を及ぼす可能性がある。



正しいのは

**正解 ● C. 妊婦が感染すると胎児に影響を及ぼす可能性がある。**

チェック欄

サンプル

**風しん**とは、**風しんウイルス**によっておこる**急性の発疹性感染症**です。感染者の風しんウイルスを含んだ飛沫（咳やくしゃみ、会話、発語などで飛び散るしぶき）を吸い込んで感染します。主な症状として**発熱、発しん、リンパ節の腫れ**が認められます。

また、**風しんは感染力が強く、一人の患者から免疫がない5～7人に感染させる可能性があります（インフルエンザでは1～2人）。**

**特に成人で発症した場合、高熱や発しんが長く続いたり、関節痛を認めるなど、小児より重症化することがあり、一週間以上仕事を休まなければならない場合もあります。成人において、決して軽視はできない疾患です。**

**風しんで最も警戒すべきことは、先天性風しん症候群**です。**妊婦、特に、妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児が風しんウイルスに感染し、難聴、心疾患、白内障などの障害**をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります（妊娠1か月でかかった場合50%以上、妊娠2か月の場合は35%など）。これらの障害を先天性風しん症候群といいます。



## 麻しん（はしか）

Q

# 麻疹（はしか） 第1問

麻疹（はしか）の特徴のうち、正しいのはどれでしょうか？

- A. 感染しても発症しない人が多く、患者本人が気付かないうちに周囲へ感染する。
- B. 典型的な症状は38℃程度の発熱およびかぜ症状が2~4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現する。主な症状は咳、鼻水、目の充血などがある。
- C. 感染力はきわめて強いが症状は弱く、感染しても死亡することはない。



正しいのは

正解 ●

**B.** 典型的な症状は38℃程度の発熱およびかぜ症状が2~4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発しんが出現する。主な症状は咳、鼻水、目の充血などがある。

チェック欄

サンプル

A. ×

感染しても発症しない不顕性感染はなく、全て発症します。発しんが出現する4日前から発しん出現後4~5日くらいまでです。なお、感染力が最も強いのは発しん出現前の期間です。

B. ○

重い合併症として、肺炎（約6%）、中耳炎（約7%）、稀に脳炎（0.1%）、失明などがあり決して油断してはいけない病気です。

C. ×

世界でも麻しん排除に向けて、予防接種率の向上などの麻しん対策が強化されていますが、途上国ではいまだに5歳以下の乳幼児の主な死亡原因となっています。

麻しんの二大死因は肺炎と脳炎であり、注意を要します。

# インフルエンザ



# インフルエンザ ● 第1問

サンプル

インフルエンザの説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 健常な成人で肺炎や脳症などを併発して重症化することが多い。
- B. 日本では毎年100人に1人が感染している。
- C. 38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れる。



正しいのは

正解 ● C. 38度以上の発熱、頭痛、関節痛、  
筋肉痛など全身の症状が突然現れる。

チェック欄

サンプル

一般的に、風邪は様々なウイルスによって起こりますが、普通の風邪の多くは、のどの痛み、鼻汁、くしゃみや咳などの症状が中心で、全身症状はあまり見られません。発熱もインフルエンザほど高くなく、重症化することはあまりありません。また、一年を通しかかることがあります。

一方、インフルエンザは、**インフルエンザウイルス**に感染することによって起こる病気です。**38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状**が突然現れます。あわせて、普通の風邪と同じように、**のどの痛み、鼻汁、咳等の症状**も見られます。

発症後、多くの方は1週間程度で回復しますが、子どもではまれに急性脳症を、高齢者や免疫力の低下している人では肺炎を伴うなど、重症になることがあります。

インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が広がります。日本では、例年12月～3月頃に流行し、毎年約1千万人、およそ10人に1人が感染しています。

# ノロウイルス



# ノロウイルス ● 第1問

サンプル

ノロウイルス胃腸炎について、正しいのはどれでしょうか。

- A. 感染力は弱い。
- B. 下痢、吐気、おう吐、腹痛、発熱などが長期間続く。
- C. 症状が回復した後でも、ウイルスが患者の便中に排出される場合がある。





正しいのは

正解 ● C. 症状が回復した後でも、ウイルスが患者の便中に排出される場合がある。

チェック欄

サンプル

**ノロウイルス**とは、幅広い年齢層において**感染性胃腸炎**の原因となるウイルスで、特に冬季に多発します。

感染力が非常に強く、100個以下という少量のウイルスでも口から体内に入ることで感染し、腸管内でウイルスが増えます。患者のふん便やおう吐物には1グラム当たり100万から10億個もの大量のウイルスが含まれています。

症状は下痢、吐気、おう吐、腹痛、発熱などですが、通常3日以内に回復します。ですが、回復後もウイルスがふん便中に排出される場合がありますので、症状が回復した後も、トイレの後、調理や食事の前には必ず手を洗ってください。

# 新型コロナウイルス

## Q

## 新型コロナウイルス感染症 第1問

新型コロナウイルス感染症について正しいのはどれでしょうか。

- A. 主な症状として、鼻水または鼻づまり、喉の痛み、咳などの呼吸器症状、熱っぽさまたは発熱、倦怠感（疲労感）などがある。
- B. 症状が無い患者から他人に感染させることは極めてまれである。
- C. 新型インフルエンザ等感染症に位置づけられ、結核、MERS（中東呼吸器症候群）、SARS（重症急性呼吸器症候群）と同様、患者に対しては厳密な管理制限が行われる。



正しいのは

正解 ● A. 鼻水または鼻づまり、のどの痛み、咳などの呼吸器症状、熱っぽさまたは発熱、倦怠感(疲労感)

チェック欄

サンプル

A.○

問題文の通り。流行初期は味覚嗅覚障害など特徴的な症状があったが、変異が進むにつれ風邪やインフルエンザなどの他の感染症と症状だけでは見分けがつきにくくなってきています。

B.×

発症の2日前から他者への感染性があり、無症状でも感染させることは、世界中で新型コロナウイルス感染症が流行する一因となりました。

C.×

感染症はその危険度の順に1類から5類までの5段階に分類され、分類に応じ感染症に基づき各種の対応が行われます。2020年の上陸当時、新型コロナウイルスはMERS・SARS等と同様の2類感染症相当に分類され隔離、調査が行われていました。

2022年初頭以降に国内で主流となったオミクロン株については、感染症法に基づく私権制限に見合う状態とは考えられないことから、2023年5月8日以降は季節性インフルエンザと同等の5類感染症に移行し、これまでの仕組みから個人の選択を尊重し、国民の皆様の自主的な取組に転換することとなりました。

# 結核



# 結核●第1問

令和5年8月改訂

サンプル

国内で新たに結核と診断される人は1年間におよそ【           】である。

A. 12,000人

B. 1,300人

C. 130人



正しいのは

正解 ● A. 12,000人

チェック欄

サンプル

令和3年中に新たに結核患者として登録された人の数は**11,519人**でした。  
結核は過去の病気ではありません。いまだにわが国の主要な感染症の一つであり、世界的にみても日本はまだ結核の**中まん延国**という状況にあります。

なお、令和3年中に報告された東京都在住の新規登録結核患者数は**1,429人**でした。早期発見、早期治療が大切です。

# 鳥インフルエンザ／新型インフルエンザ





# 鳥インフルエンザ／ 新型インフルエンザ ● 第1問

サンプル

鳥インフルエンザの説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 鳥インフルエンザウイルスを原因として、主に鳥と鳥の間で流行するインフルエンザである。
- B. 鳥インフルエンザウイルスは、高頻度で人に感染する。
- C. 人に感染すると死にいたる確率は100%である。



正解 ●

正しいのは

A. 鳥インフルエンザウイルスを原因として、主に鳥と鳥の間で流行するインフルエンザである。

チェック欄

サンプル

鳥インフルエンザは、**鳥インフルエンザウイルス**を原因として、主に鳥と鳥の間で流行するインフルエンザのことです。なかでも、感染した鳥が高率に死亡してしまうような、病原性が高い鳥インフルエンザを**高病原性鳥インフルエンザ**といいます。

鳥インフルエンザウイルスは、通常、人に感染することはありません。しかしながら、感染した鳥に触れる等濃厚接触をした場合など、きわめて稀に人に感染することがあります。

人に感染すると、通常の季節性インフルエンザに似た高熱、咳などの他、さらに重症の肺炎や多臓器不全を伴い重症化して死に至る場合もあります。

# デング熱・ジカウイルス感染症（蚊媒介感染症）



# デング熱・ジカウイルス 感染症（蚊媒介感染症） ● 第1問

サンプル

デング熱の説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 症状として、高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・発疹などがある。
- B. ヒトからヒトへ直接感染する。
- C. デング熱には有効な治療法が確立されている。



正しいのは

**正解 ● A 症状として、高熱・頭痛・関節痛・筋肉痛・発疹などがある。**

チェック欄

サンプル

デング熱とは、**デングウイルス**を保有する蚊に刺されることで発症する感染症です。主な媒介蚊は**ヒトスジシマカ**や**ネツタイシマカ**です。人と蚊の間で感染を繰り返し、人から人へは直接感染しません。

典型的な症状として、蚊に刺されてから**2日～15日（多くは3日～7日）**の潜伏期間の後、**高熱（38～40度）・頭痛・関節痛・筋肉痛・発しん**などの症状が現れます。デング熱に感染した場合、**デング熱に対する有効なワクチン**や特別な治療法はなく、症状に応じた対症療法が行われます。

多くの人は、1週間ほどで症状が回復します。ですが、希に一部の患者で重症化して、出血傾向やショック症状がみられることがあります。

流行地域は、**熱帯や亜熱帯の全域**です。東南アジア、南アジア、中南米で患者の報告が多く、最も日本に近い流行地は台湾です。

流行地に渡航するときは、**長袖、長ズボン**を着用するなど、**肌の露出をできるだけ避け、蚊に刺されないよう注意**しましょう。必要に応じて**蚊取線香、忌避剤、蚊帳**等を使用することは有効です。

## 海外渡航関連





## 海外渡航関連 ● 第 1 問

サンプル

海外渡航前の感染症対策の準備として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 渡航先の感染症流行状況を確認する。
- B. 予防接種は渡航の直前に接種した方が良い。
- C. 体調は現地で整え免疫力を高めてゆく。



正しいのは

正解 ● A. 渡航先の感染症流行状況を確認する。

チェック欄

サンプル

旅行先の衛生状況や、今どんな感染症が流行しているのかなどの情報を厚生労働省検疫所ホームページや外務省海外安全ホームページ等で事前に入手し、病気になるための注意事項を確認しておきましょう。

予防接種で防げる感染症の場合、予防接種を受けて、あらかじめ免疫をつけておくことをお勧めします。必要な予防接種は、渡航地、滞在期間等で異なります。また、種類によっては、免疫ができるまで数週間かかったり、数回接種しないと効果が期待できないものもありますので、余裕をもってかかりつけ医や、**トラベルクリニック等の医療機関、保健所等**で接種の相談をしましょう。

また、感染症の予防には、出発前に体調を整え、免疫力を高めておくことが大切です。



## 性感染症



## 性感染症 ● 第1問

サンプル

「性行為で感染する病気」を総称して性感染症といいます。ウイルス、細菌、原虫などが、性器、泌尿器、肛門、口腔などに接触することで感染します。性感染症には、HIV/エイズ、梅毒、性器クラミジア感染症など、その種類は10種類以上あります。性感染症について、正しいのはどれでしょうか。

- A. 性感染症の多くは1回感染すれば免疫ができる。
- B. パートナーの検査は不要である。
- C. 治療をしないと不妊症の原因になることがある。



正しいのは

正解 ● C. 治療をしないと不妊症の原因になることがある。

チェック欄

サンプル

**性感染症**は、自覚症状があるものとなないものがあり、男女で症状が異なることもあります。自覚症状がなくても、からだの中で病気は進行しているため、治療しないでいると**身体各部の機能の障害や不妊症の原因**になることもあります。**母子感染の可能性**もあり、**先天性の身体の障害や失明などの原因**となったり、死に至ることもあります。

また、自覚症状がないままパートナーに感染させる可能性があります。

そのため、「もしかしたら…」と思ったら、**医療機関を受診することが一番大切**です。性感染症は検査でわかり、ほとんどの性感染症は早めにきちんと治療をすれば治ります。ただし、性感染症の多くは、免疫ができず、**何度でも感染するため、予防に気を付けることと、パートナーと一緒に検査と治療をすることが必要**です。

現在、性行為（セックス）は多様化しており、性行為には、膣性交、口腔性交（オーラルセックス）、肛門性交（アナルセックス）を含みます。口腔性交によって性器から口腔内へ感染する事例、口腔内から性器へ感染する事例があります。

# エボラ出血熱・MERS



Q

エボラ出血熱・  
MERS

## ● 第1問

エボラ出血熱（2023年7月時点）の説明として、正しいのはどれでしょうか。

- A. 症状のない患者からも感染する。
- B. 空気感染することもある。
- C. 患者の血液や体液に触れることで感染する。



正しいのは

正解 ● C. 患者の血液や体液に触れることで感染する。

チェック欄

サンプル

エボラ出血熱とは、**エボラウイルス**による感染症です。潜伏期間は2～21日で通常7日程度です。発症は突発的で、**40℃を超える発熱、頭痛、筋肉痛、のどの痛み**を起こします。それに続いておう吐、下痢や多臓器不全、さらに進行すると全身の出血傾向がみられる場合もあります。現在、エボラ出血熱に対するワクチンや特異的な治療法はないため、患者の症状に応じた治療（**対症療法**）を行うこととなります。

エボラ出血熱は症状が出ている患者の血液や体液（尿、唾液、ふん便等）やそれに汚染された物質に十分な防護なしに触れた際、ウイルスが傷口や粘膜から侵入することで感染します。また、感染した動物の体液に触れたり、動物を食べたりすることによっても感染します。一般的に、症状のない患者からは感染しません。空気感染もしません。インフルエンザ等の疾患とは異なり、簡単に人から人に伝播する病気ではありません。

国内での発生はありませんが、渡航する際は、厚生労働省検疫所の情報サイト「FORTH」（<https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>）や外務省の海外安全情報のホームページ（<https://www.anzen.mofa.go.jp/>）などで、事前に確認しておきましょう。